

# 学会の新しい取り組みについて

一般社団法人日本産業技術教育学会 会長  
村松 浩幸（信州大学）



一般社団法人 日本産業技術教育学会

The Japan Society of Technology Education

日本産業技術教育学会は、技術教育に関する研究を行い、その振興普及および会員相互の連絡を図り、技術教育の発展に寄与することを目的としています。



検索

お問い合わせ

プライバシーポリシー



The Japan Society of Technology Education

HOME

日本産業技術教育学会

技術教育の普及・啓発活動

行事カレンダー

全国大会

分科会活動

支部会活動

会誌「日本産業技術教育学会誌」

国際連携

入会・会員情報



一般社団法人 日本産業技術教育学会

The Japan Society of Technology Education (JSTE)

## 入会のご案内

本学会にご興味をお持ちの皆様、是非ご一読ください。

[日本産業技術教育学会とは？](#)

## 新着情報

2022年2月22日（火）

【第65回全国大会(広島)の大会ホームページ開設のお知らせ】 **NEW**  
第65回全国大会(広島)の大会ホームページが開設されました。詳しくは、以下のリンク先をご覧ください。

JMOOC

中学校「D情報の技術」D(2)

動画研修教材公開中!!

第65回全国大会(広島)

JSTE

第65回全国大会(広島)

2022年 8月20日(土)・21日(日)

ICTE 2022

技術教育に関する研究を行い、その振興普及および会員相互の連絡を図り、もって技術教育の発展に寄与する

更新情報

## 法人化までの歩み

- 1958年 本学会発足
- 1984年 日本学術会議登録
- 2018年 一般社団法人化
- 2022年 支部統合・法人化完成

一般社団法人とは、営利（利益の追求）を目的としない非営利の人の集まり・団体に対して法人格が与えられたもの

- 事務局機能（会計含む）を外注化したことでの運営省力化  
→持続可能な学会運営ができるようになった
- 法人格を持ったことで、法人としての活動，社会的信用度UP  
→受託事業を受けられるようになった

## 教育系学会の抱える課題

- 少子高齢化による会員減
  - 大学の研究環境，とりわけ教員養成系大学を取り巻く厳しさ
  - 学校現場を取り巻く厳しさ
- 
- 縮小のスパイラルの中で，どのように学会を発展・維持させていくか
  - 学術研究と実践支援をどう両立させるか
- 
- 限られたリソース，スタッフで学会として成果を最大化するための方法はあるか？

# 各種事業を受託



令和元年度  
次世代の教育情報化推進事業  
「中学校技術・家庭科（技術分野）におけるプログラミング教育推進のための実践事例等に関する調査研究」

中学校技術・家庭科（技術分野）における  
プログラミング教育実践事例集

令和2年3月24日  
文部科学省

令和2年度  
小・中・高等学校を通じた情報教育強化事業（情報教育指導充実事業）  
国語教員の情報教育に係る指導力向上事業

中学校 技術・家庭科（技術分野）  
内容「D 情報の技術」研修用教材

令和3年3月  
文部科学省

令和2年度  
小・中・高等学校を通じた情報教育強化事業（情報教育指導充実事業）  
国語教員の情報教育に係る指導力向上事業

高等学校「情報」実践事例集

令和3年3月  
文部科学省



- 文科省事業やJMOOC事業を受託
- 学会外との関係が広がる

# 実践支援を強化



全日中技家研 研究相談

全日本中学校技術・家庭科研究会の各都道府県研究会から本学会実践研究活性化委員会への相談フォームです。

研究の方向性や教材の開発など、お困り事や相談事があれば学会に気軽にお寄せください。いただいた内容については、同委員会の担当者が確認の上、返信をさせていただきます。内容によっては返信にお時間がかかるかもしれないことをご了承ください。

以下のフォームに必要事項をご記入の上、送信してください。

研究会を選択してください

北海道

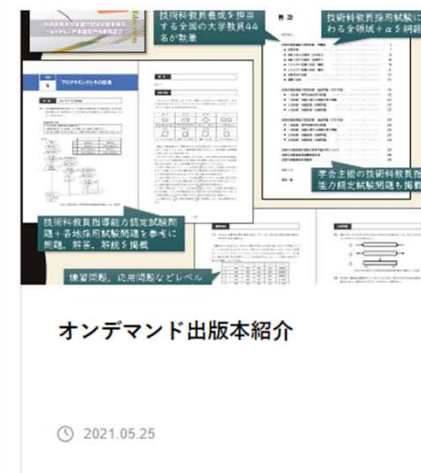
担当者 氏名

メールアドレス

題名

- 全日本中学校技術・家庭科研究会との連携
- 実践教育支援サイトの立ち上げ
- 実践活性化委員会の立ち上げ

# 書籍発刊で世の中に情報発信



# 小学校プログラミング教育でも専任教員が担当できる制度導入を～日本産業技術教育学会が提言

2021年2月10日



一般社団法人日本産業技術教育学会(村松浩幸会長/信州大学)は1月27日、文部科学省に「高等学校共通教科情報科の大学入学共通テストでの実施に関する提言」を提出。小中学校におけるプログラミング教育に関する内容を提言している。その内容を同会Webに公開した。

## 1. 高等学校共通教科情報科の充実への提言と支援

提言では「高等学校共通教科情報科についての試験を、大学入学共通テストの重要な一部として実施することは、情報技術の重要性がこれまで以上に増大する今後の社会において、たいへん重要」である一方、共通教科情報科の授業担当者において、免許外教科担当教員の割合が高い点を問題として指摘。各自治体への高等学校段階での情報科の教員採用の働きかけと共に、教員研修および情報科教員養成への支援の強化と、それに対する本学会の支援を提言した。

## 2. 中学校技術・家庭科技術分野の充実への提言と支援

高等学校での共通教科情報科の授業の充実のためには中学校での技術・家庭科技術分野における情報技術についての授業の充実も必要だが、技術科教員の不足や免許外教科担当教員が多いこと、技術・家庭科技術分野においてはその重要性および内容の増大に対して、授業時間数が絶対的に不足していること、特に3学年における授業時数の減少は他学年と比較して顕著であることを指摘。授業時間数の増を求めた。

学会では、情報技術の技術科教員向けの実践事例集や研修資料作成等を通じて支援する。

## 3. 小学校段階のプログラミング教育の充実への提言と支援

- ・他学会との連携
- ・社会に積極的に意見・情報を発信

同会では、中学校プログラミング教育の実態調査も行っている。

教育家庭新聞(2021.2.10)

## 新設委員会等の取り組み紹介

- ①「実践活性化のための新展開　ーオンライン講座の展開ー」  
実践活性化委員会委員長 森山 潤（兵庫教育大学）
- ②「実践事例普及のための新展開　ー実践事例書籍の発刊ー」  
実践事例書籍編集委員会委員長 井手 広康（愛知県立小牧高等学校）
- ③「技術科教員指導能力認定試験の新展開  
ーオンライン試験・認定試験本の紹介ー」  
技術科教員指導能力認定試験委員会委員長 萩嶺 直孝（大分大学）

## その他新しい取り組み紹介

- ④「2023年度の全国大会シンポジウムプロジェクトの紹介」  
STEM兼他学会連携担当理事 岳野 公人（滋賀大学）  
論文投稿チュートリアル 編集委員長 市原 靖士（大分大学）
- ⑤「学会賞の新設提案」  
担当副会長 田口 浩継（熊本大学）